Academic Link
Chiba University | Academic Link Center

1210あかりんアワー　教員が研究の楽しさを語る
第19回（10/23）　和田健先生推薦　ブックガイド

※掲載されている本はN棟3階ブックツリーのテーマ展示コーナーに配架されます。

Book1

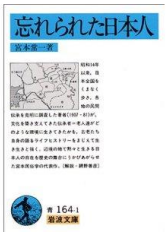
禁忌習俗語彙

著者：柳田国男　出版社：國學院大學方言研究會

コメント：「〇〇をしてはいけない」という伝承について、昭和初期の全国調査などから得られた民俗語彙をもとに整理したものです。辞書的な記述ですが、読んでもおもしろい。『分類〇〇語彙』のシリーズは、民俗語彙を豊富に集大成しており、古くから言い伝えられていたことばの記憶装置的な存在といえます。

Book2

忘れられた日本人

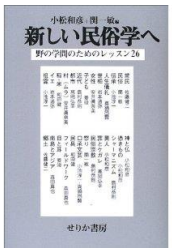


著者：宮本常一　出版社：岩波書店

コメント：旅する民俗学者宮本常一の代表作。盲目の馬喰の語りで構成されるライフストーリー「土佐源氏」、寄合の意思決定から見る予定調和型のむらづきあいが描かれた「対馬にて」など、むらにおける人々の有機的なつながりが生活誌的に描かれています。

Book3

新しい民俗学へ　野の学問のためのレッスン26



編者：小松和彦、関一敏出版社：せりか書房

コメント：「民俗学は古き残存を捉えればよいのか?」という問いを否定する前提で、民俗学が対象としてきた概念を改めて書き直す作業を行ったものです。民俗学が隣接する学問に越境、相互乗り入れすることの可能性に言及した大学生向けの教科書です。

Book4

しぐさの民俗学　呪術的世界と心性

著者：常光徹　出版社：ミネルヴァ書房

コメント：トイレの花子さんで知られる『学校の怪談』の著者。エンガチョや霊柩車を見たら親指を隠すなど、身体の所作・行為に埋め込まれた歴史や文化的背景を考察するヒントとなります。

Book5

歴博フォーラム　民俗学的想像力

編者：小池淳一　出版社：せりか書房

コメント：どの学問分野でも「学史研究」は重要です。今までの研究の道筋を現在の観点から再評価していくことにより、その学問の進むべき道が見えてきます。
この本は、学史研究のやり直しを行うことにより、民俗学が進むべき道を探ろうとしたものです。